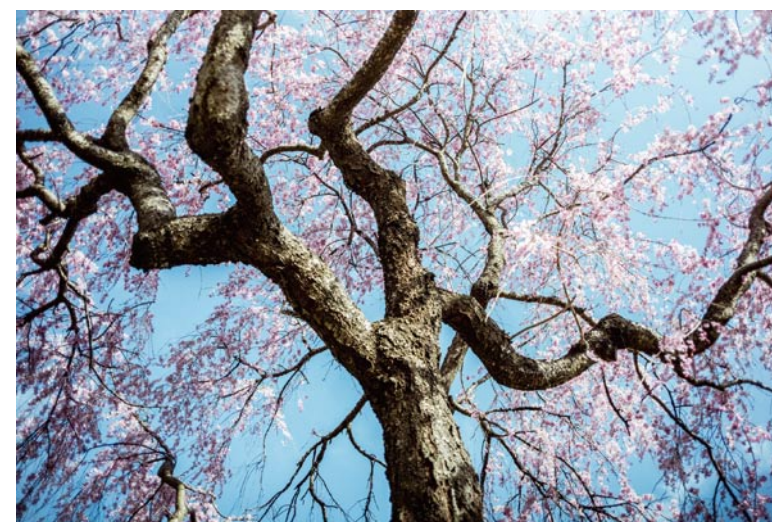
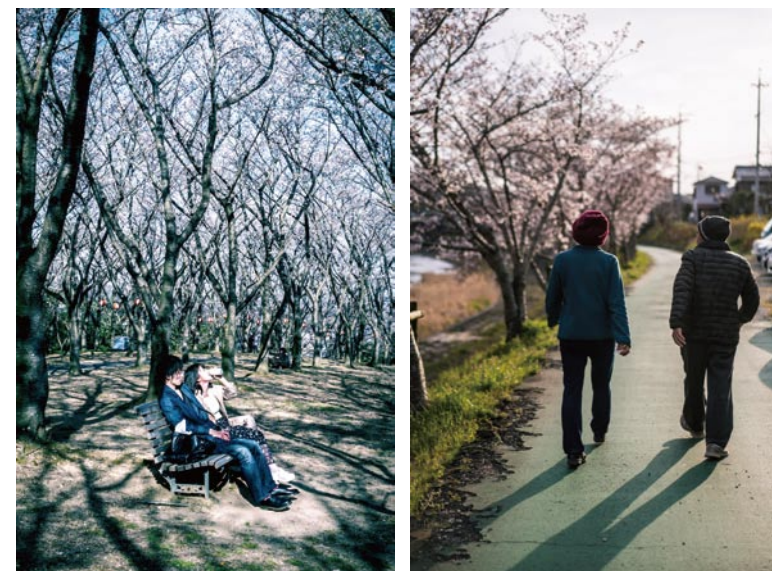


まちかどピックアップ

年に一度、加東が 桜色に染まる季節

4月上旬、加東市内を桜前線が通過。桜色に染まった市内では、思い思いに桜を楽しむ人々の姿が見られた。愛する人と桜並木を歩く人、桜を肴に宴会に興ずる人、カメラを向け必死にシャッターを切る人。桜の木の下では、誰もが自由になれる。誰もが平和になれる。



2	1
3	

1. 東条川グリーンロード付近
2. 播磨中央公園
3. 千鳥川桜堤公園

自分たちの地域は自分たちで守る 加東市消防団出初式

76分団、543人が参集した加東市消防団出初式。先輩団員たちの大きな背中を見つめる56人の新入団員の眼差しからは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災への熱い使命感が感じられた。今年も地域防災への誓いを新たにした消防団員たちの新たな一年が始まる。



福田小学校 卒業記念 大賀ハスで作った色紙



平成30年度の福田小学校卒業生の23人が卒業記念として、大賀ハスを原料とする色紙に、それぞれが大切にしたい言葉を書き上げ、オリジナルの色紙を完成させました。

同校では、低学年の頃から平池公園の「大賀ハス」を題材に総合学習に取り組んでおり、その集大成として、大賀ハスを原材料に色紙を製作。また、色紙だけでなく、色紙を入れる額も図工の時間に製作。文字を

彫ったり、マークを刻んだりと思いいに世界に一つだけの作品を作り上げました。

「友」と書いた井上歩咲さんは、「友達が大事という気持ちを持ち続けたいです」と、また「敬」と書いた田中美緒さんは、「大人になっても、人を尊敬する気持ちを忘れずにいたいです」と、それぞれの思いを込めた色紙を大事に持ち、中学生になる嬉しさに目を輝かせていました。

生物多様性を学ぶ



かとう環境パートナーシップ倶楽部では3月5日、「生物多様性に関する研修会」を開催。同倶楽部会員である兵庫県立やしろの森公園協会 事務局長の余部衛さんが講師をつとめました。研修会ではワークショップ形式で自分達の暮らしと多様な生物たち、さらには私たちと自然界がどのように繋がっているのかを考えました。私たちが何気なく生活しているこの環境も、1つ1つがかけがえのない、たくさんの要素から成り立つ世界であることを、参加者は再認識しました。

ソフトボールで世界へ



3月21日から26日まで開催されたオーストラリア親善交流派遣団の代表選手24人のうちの1人に選ばれた友藤祥さん（姫路ルーキーガールズ）が、3月29日に市長を表敬訪問しました。

友藤さんは「試合ではランニングホームランを打てました。将来は実業団に入りたいです。」と話してくれました。